

令和 9 年度福島県立高等学校入学者選抜における選抜方法

【調査票】

学校番号	学 校 名	課 程
2 6	福島県立岩瀬農業高等学校	全日制

アドミッション・ポリシー

基本的生活習慣や正しい規範意識が身についており、高校生活のあらゆる場面でリーダーシップを発揮できるとともに、以下のいずれかを満たす生徒を求めている。

- ① 将来、就農や農業分野への進学など明確な目標を持ち、その実現に対して努力を惜しまない生徒
- ② 特別活動（生徒会活動、部活動等）に意欲的に取り組んでおり、入学後も継続して向上心を持って取り組むことができる生徒

【前期選抜】

特色選抜

大学科 小学科	募 集 定員枠	志願してほしい生徒像
農業科 ヒューマン サービス科	各学科 20% 程度	本校では、教育目標及びスクール・ミッションを次のように定めている。 <教育目標> (1) 関係機関との連携を図り、福島から国内や世界へ広がる新しい学びを実践します。 (2) 豊かな人間性を育む教科等横断的な学びを実践します。 (3) 個々の生徒の学力やコミュニケーション能力を高める教育活動を実践します。 <スクール・ミッション> (1) 高校の存在意義 校訓「至誠勤勉」「質実剛健」「終始一貫」のもと、県中地区の職業教育推進校として生物生産科、園芸科学科、ヒューマンサービス科、食品科学科、アグリビジネス科、環境工学科を持つ農業科の専門高校 (2) 期待される社会的役割 農業教育の拠点校として、農業の専門的な知識・技術を習得し、それを活用できる豊かな教養や実践力を身に付けた、地域産業を支える人材を育成する学校 (3) 目指すべき学校像 地域や世界をフィールドとした学びに加え、SDGs※に対応した学びや生徒の夢を实らせる学びを展開することにより、時代の進展に対応した魅力ある教育活動を推進する学校 ※ SDGsとは、Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略で、国連サミットで2015年（平成27年）に採択した、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のために設定した17の国際目標。
農業科 生物生産科		
農業科 園芸科学科		
農業科 環境工学科		
農業科 食品科学科		

農業科 アグリ ビジネス科		【入学者の受け入れに関する方針】 本校の＜教育目標＞及び＜スクール・ミッション＞を理解し、基本的生活習慣や正しい規範意識が身についており、高校生活のあらゆる場面でリーダーシップを発揮できるとともに、以下のいずれかを満たす生徒を求めている。 A 型（学 業）： 高校卒業後、本校の各学科の専門性を生かした進学または将来、就農などの明確な進路目標を持ち、その実現に対して努力を惜しまない生徒。 B 型（部活動）： 中学校で部活動や地域クラブ活動等に意欲的に取り組んでおり、入学後も本校のいずれかの部活動に３年間継続して取り組むことができる生徒。 ※ 中学校時代の部活動や地域クラブ活動等と本校入学後に入部したい部活動が異なってもよい。 ※ 本校指定の部活動一覧は募集要項に記載する。				
選 抜 資 料						
学 力 検 査	特色選抜志願理由書	調 査 書	特 色 面 接	特 色 検 査	選抜資料の満点	備 考
５教科とする。 学力検査の満点を２５０点とする。	志願してほしい生徒像【入学者の受け入れに関する方針】の志願形態（A型・B型）にもとづき、志願の動機・理由及び将来への抱負、高校生活で意欲的に取り組みたいことについて本人が記入する。	「各教科の学習の記録」は傾斜配点を実施し、音楽、美術、保健体育、技術・家庭の教科の評定を２倍することとし、１９５点満点とする。「特別活動の記録」及び「その他の活動及び長所・特技等の記録」は５５点満点として、合計２５０点満点とする。 部活動や地域クラブ活動等の実績や取組等は総合的に評価し、点数化する。	個人面接を実施する。 個人面接では、本校での学ぶ意欲や志願者が自らの考えをまとめ適切に伝える表現力をみる。 面接については、点数化し、１００点満点とする。	作文を実施する。 テーマにもとづいて６００字以内で自分の意見等を述べる作文とする。 作文については、点数化し、１００点満点とする。	全体の満点は、７００点とする。	

一般選抜

大学科 小学科	募集定員	選 抜 資 料			学力検査と調査書の成績の比重	備 考
		学 力 検 査	調 査 書	一 般 面 接		
農業科 ヒューマンサービス科	(40)	5教科とする。 学力検査の満点を250点とする。	「各教科の学習の記録」は195点満点とし、「特別活動の記録」及び「その他の活動及び長所・特技等の記録」は55点満点として、合計250点満点とする。 部活動や地域クラブ活動等の実績や取組等は総合的に評価し、点数化する。	個人面接を実施する。 個人面接では、本校での学ぶ意欲や志願者が自らの考えをまとめ適切に伝える表現力をみる。 面接については、段階評価する。 ※ 特色選抜との併願者は、特色面接の実施をもって一般面接の実施とみなす。	同等とする。	
農業科 生物生産科	(40)					
農業科 園芸科学科	(40)					
農業科 環境工学科	(40)					
農業科 食品科学科	(40)					
農業科 アグリビジネス科	(40)					

【後期選抜】

大学科 小学科	選 抜 資 料			備 考
	調 査 書	面 接	小論文（又は作文）	
農業科 ヒューマンサービス科	「各教科の学習の記録」は135点満点とし、「特別活動の記録」及び「その他の活動及び長所・特技等の記録」は55点満点として、合計190点満点とする。 部活動や地域クラブ活動等の実績や取組等は総合的に評価し、点数化する。	個人面接を実施する。 個人面接では、本校での学ぶ意欲や志願者が自らの考えをまとめ適切に伝える表現力をみる。 面接については、段階評価する。	作文を実施する。 テーマにもとづいて、400字以内で自分の意見等を述べる作文とする。 作文については、段階評価する。	
農業科 生物生産科				
農業科 園芸科学科				
農業科 環境工学科				
農業科 食品科学科				
農業科 アグリビジネス科				